

着工後検討事項

① ENT1・ENT2 / 9m²

モルタル金縷抑えやコンクリート平板、タイルなど仕上げ材については基礎立ち上がりの調子を見て検討したい。ホールの仕上げと同時期に施工するのがベター。イメージとしては内部の基礎廻廊と外部エントランスを繋ぐようなものになりたいと考えている。

② 廊下 / 16m²

基礎廻廊を横断し、各スペースにアクセスする為の廊下。束など、解体後に使えそうな廃材があれば転用したい。床はその部分と対照的で、清潔感が出るようなタイルや鉄などの仕上げを想定。但し、天井裏の状態によっては統一感を出して木仕上げにしてもいいかもしれない。

③ 洗面台 / W1800 x D550 x H750 コンセントE2 + 照明

廊下上に浮いているような洗面台。空間にアクセントをつける為に、周辺ディティールと合わせて慎重に検討したい。浮遊感があるような、不思議な存在感があるような雰囲気を目指す。鍍金？ダイノック？

④ ホール天井 / 15m²

床はモルタル金縷抑え。天井については既存状態を確認し、必要であれば板張りの上OP塗装などを検討する。既存梁は現し仕上げのイメージだが、解体後に方針を検討する。

⑤ 仏間床 / 13m²

基礎立ち上がり型枠ワークショップを経て、打ちっ放しの状態と廊下仕上げを確認した後で床仕上げを検討したい。畳、カーペット、フローリングなどを想定。

⑥ 既存構造と天井

構造の状態によっては入れ換え、補強等を行う。壁は基本的には合板大壁貼りであるが、必要な場合は適宜柱、梁が露出してもいい。金物についても露出可。チリをつけ、合板で仕上げたり、見切りなど納まり例詳細図参照。

